

平成 30 年度 上武大学 大学院 経営管理研究科 シラバス

講義番号		授業科目名	金融システム特論 A		担当教員	矢島 格		
		英語授業科目名	Financial Economics A		単 位	2	学 期	前期
対象年次	1・2年次	クラス指定	なし		他との関連			
履修条件	経済学の基礎的知識を有していること。							
テーマ・副題	金融制度および各経済主体の金融行動について							
授 業 の 教育目的 ・ 目 標	実際の金融システムの概要を理解し、望ましい金融システムのあり方を探る。 前期の特論 A では、金融に関する基礎知識に基づいて金融システムの概要を理解することに力点を置く。							
授 業 の 理解度の 到達目標	金融システムが抱える問題や課題を自分なりに把握できるようになることを目標とする。							
授業キーワード	金融システム、金融制度、金融規制、金融機関、金融取引、金融市場、金融リスク							
授業の内容	金融システムの概要について、できる限り具体的な事例を取り上げながら、議論していく。							
授業の方法	テキストの輪読。受講する学生が順番に発表する方法をとる。							
授業展開	1. ガイダンスおよび金融システムをめぐる情勢 2. 金融システムと金融取引 3. 資金の流れ 4. 銀行の制度と経営 5. 金融市場の概要 6. 金融の新しい仕組み 7. 金融取引と金利 8. 金融取引の特徴と課題 9. 銀行の働き 10. 金融市場の働き 11. 金融取引と政府の役割 12. 貨幣の働きとマクロ経済 13. 日本銀行と金融政策 14. 金融危機とプルーデンス政策 15. 金融システムに関する最近の課題							
成 績 評価方法	授業への取り組み姿勢（40%）、発表内容のレベル（30%）、レポート内容のレベル（30%）から評価する。							
成 績 評価基準	総合点が 80 点以上を A、79～70 点を B、69～60 点を C、それ以下を D とする。 なお、欠席が 1/3 以上の場合は、E とする。							
テキスト	岡村秀夫他著『金融の仕組みと働き』有斐閣（2017）ほか							
参考図書	内田浩史著『金融』有斐閣（2016） 鹿野嘉昭著『日本の金融制度（第 3 版）』東洋経済新報社（2013） その他は、適宜紹介する。							
準備学習に 必要な時間、 又はそれに 準じる程度 の具体的な 学習内容	テキストの復習・予習を通じて、各自疑問点などを明確にして、毎回出席すること。 また、発表者は、発表担当部分を十分に理解したうえで、レジメを作成して所要部数用意しておくこと。							
学生への メッセージ	金融ファイナンスに関する事柄・事象に関心を持ち、積極的に議論に参加してもらいたい。							
オフィスアワー	木曜 3 時限、金曜 2 時限（メールによる事前アポイントが望ましい。）							
連 絡 先	電話番号	0274-42-2828	（内線：5513）	メールアドレス:	i-yajima@ic.jobu.ac.jp			
人数制限	特に定めない。							